

田中聡前沖縄防衛局長の発言に対する抗議決議

田中聡前沖縄防衛局長が去る11月28日、報道陣との非公式の懇談会の席で、記者から米軍普天間飛行場代替施設建設の「環境影響評価書（アセスメント）」に関して、一川保夫防衛大臣が年内提出時期の明言を避けていることについて問われた際に、性的暴行に例えた「女性蔑視」の発言をしたとの新聞報道があった。

折しも普天間飛行場の「県外・国外移設」を強く求め、沖縄県議会で評価書提出断念を求める決議が全会一致で可決され、その思いを託した一連の行動を県民が見守っている最中で女性の人権を無視し、県民を愚弄する許しがたい発言である。

この幾度となく繰り返される日米両政府関係者等からの不見識極まる発言に対し、沖縄県民は心底からの怒りを禁じえないものである。

また政府による「沖縄県民の理解と信頼を得る」という常套句が絵空事に聞こえてくる。このままでは到底、県民の信頼どころか不信感だけが醸成されていくだけである。

よって、うるま市議会は、前沖縄防衛局長の更迭は当然であるが、発言そのものについては強く糾弾し、政府はもとより本人の心からの謝罪と猛省を促すとともにこれ以上、沖縄県民の心を強く傷つける言動は厳に慎むよう抗議する。

以上、決議する。

平成23年12月6日

沖縄県うるま市議会

あて先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
沖縄防衛局長